



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <https://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 布施 稔 (TEL) 03-5318-0639
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	22,033	13.1	7,465	13.5	8,241	15.4	6,027	15.3
2026年3月期第1四半期	19,488	△15.5	6,578	△1.6	7,141	△0.6	5,229	△1.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 6,407百万円(27.4%) 2026年3月期第1四半期 5,030百万円(△31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	29.50	—
2026年3月期第1四半期	25.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	199,356	168,442	84.5
2026年3月期	202,271	171,039	84.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 168,442百万円 2026年3月期 171,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,200	22.8	13,900	△16.5	14,230	△20.5	10,100	△22.2	49.42
通期	100,000	6.8	25,000	△19.4	25,600	△23.5	18,100	△27.8	88.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	210,000,000株	2026年3月期	210,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	5,687,029株	2026年3月期	5,687,029株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	204,312,971株	2026年3月期1Q	204,496,371株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズ、「デジモンアドベンチャー」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、220億33百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は74億65百万円（同13.5%増）、経常利益は82億41百万円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億27百万円（同15.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、当第1四半期における公開作品はないものの、製作委員会の配給収入の配分等がありました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「名探偵プリキュア!」、「DIGIMON BEATBREAK」、「おしりたんてい」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の5作品を放映しました。前年同期と比較して新作の放映話数が増加したことから、増収となりました。

コンテンツ部門では、前年同期好調に稼働した「ドラゴンボールDAIMA」のブルーレイ・DVDの反動減により、減収となりました。

海外映像部門では、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売が好調に稼働し、また為替の影響もあり、大幅な増収となりました。

その他部門では、「ドラゴンボール」シリーズの国内の配信権販売が好調に稼働し、増収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は69億67百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益は23億73百万円（同109.8%増）と増収増益となりました。

②版權事業

国内版權部門では、「ワンピース」の商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収となりました。

海外版權部門では、「ワンピース」の商品化権販売、「デジモンアドベンチャー」シリーズのゲーム化権販売が好調に稼働し、また為替の影響もあり、大幅な増収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は123億24百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は63億9百万円（同4.2%減）と増収減益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「ドラゴンボール」シリーズのショップ事業が好調に稼働し、増収となりました。

この結果、売上高は18億5百万円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は83百万円（同0.9%増）と増収増益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「ワンピース」、「ワールドトリガー」、「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したこと等から、増収となりました。

この結果、売上高は11億11百万円（前年同期比35.2%増）、セグメント利益は1億31百万円（前年同期は、47百万円のセグメント損失）と増収増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、1,323億72百万円となりました。これは、仕掛品が13億21百万円、流動資産のその他が4億17百万円それぞれ増加し、現金及び預金が41億54百万円、受取手形及び売掛金が9億40百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、669億84百万円となりました。これは、有形固定資産が1億48百万円、投資有価証券が1億98百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、1,993億56百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、262億60百万円となりました。これは、流動負債のその他が9億57百万円増加し、買掛金が9億14百万円、賞与引当金が2億52百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、46億53百万円となりました。これは、固定負債のその他が93百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、309億14百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、1,684億42百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が5億97百万円増加し、利益剰余金が29億77百万円、その他有価証券評価差額金が2億18百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2026年5月13日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社では、財務の健全性、戦略投資、株主還元のバランスを取り、堅牢な財務基盤の下、高い資本効率(ROE)を維持しつつ、1株当たり利益(EPS)を飛躍的に高め、持続的成長と中長期的な企業価値向上を実現することを財務戦略の基本方針として掲げています。

足元では、堅牢な財務基盤は確保出来ており、戦略投資・株主還元へより重点配分致します。

株主還元面では、過去配当総額を下限とした安定配当を基本とし、投資戦略や業績動向に応じて柔軟に、総合的な判断を行って参ります。

なお中期経営計画「VISION2030」においては、中計期間(2027年3月期～2031年3月期)を通じた財務KPIとして、配当性向40%以上、最終年度の財務KPIとして、総還元性向50%目途、としています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,748	88,594
受取手形及び売掛金	26,931	25,991
有価証券	181	245
商品及び製品	1,788	1,871
仕掛品	11,375	12,696
原材料及び貯蔵品	142	132
その他	2,484	2,901
貸倒引当金	△85	△61
流動資産合計	135,566	132,372
固定資産		
有形固定資産	8,776	8,924
無形固定資産	1,435	1,420
投資その他の資産		
投資有価証券	22,902	23,101
長期預金	31,300	31,300
その他	2,433	2,381
貸倒引当金	△142	△143
投資その他の資産合計	56,493	56,639
固定資産合計	66,704	66,984
資産合計	202,271	199,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,359	16,445
未払法人税等	2,843	2,802
賞与引当金	672	420
その他	5,633	6,591
流動負債合計	26,510	26,260
固定負債		
役員株式給付引当金	314	331
退職給付に係る負債	162	171
その他	4,244	4,151
固定負債合計	4,721	4,653
負債合計	31,231	30,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	149,710	146,733
自己株式	△1,406	△1,406
株主資本合計	154,581	151,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,002	8,784
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	7,457	8,054
その他の包括利益累計額合計	16,458	16,838
純資産合計	171,039	168,442
負債純資産合計	202,271	199,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	19,488	22,033
売上原価	9,101	10,081
売上総利益	10,386	11,952
販売費及び一般管理費	3,808	4,486
営業利益	6,578	7,465
営業外収益		
受取利息	233	160
受取配当金	201	292
持分法による投資利益	68	0
為替差益	5	311
その他	56	42
営業外収益合計	565	807
営業外費用		
支払利息	0	0
子会社清算損	—	26
その他	2	5
営業外費用合計	2	31
経常利益	7,141	8,241
特別利益		
投資有価証券売却益	376	—
特別利益合計	376	—
特別損失		
減損損失	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益	7,492	8,241
法人税、住民税及び事業税	1,931	2,294
法人税等調整額	330	△80
法人税等合計	2,262	2,214
四半期純利益	5,229	6,027
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,229	6,027

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	5,229	6,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,168	△178
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	△1,403	597
持分法適用会社に対する持分相当額	38	△40
その他の包括利益合計	△199	379
四半期包括利益	5,030	6,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,030	6,407
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	映像製作・ 販売事業	版權事業	商品販売 事業	その他事業 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
売上高							
日本	1,667	4,227	1,464	625	7,986	—	7,986
北米	1,298	3,091	—	—	4,390	—	4,390
中南米	424	803	—	—	1,227	—	1,227
欧州	401	1,772	8	164	2,347	—	2,347
アジア	1,649	1,818	66	3	3,537	—	3,537
顧客との契約から 生じる収益	5,441	11,713	1,539	794	19,488	—	19,488
外部顧客への売上高	5,441	11,713	1,539	794	19,488	—	19,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	41	1	28	75	△75	—
計	5,446	11,755	1,540	822	19,564	△75	19,488
セグメント利益 又は損失(△)	1,131	6,584	82	△47	7,751	△1,173	6,578

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,173百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,175百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	映像製作・ 販売事業	版權事業	商品販売 事業	その他事業 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
売上高							
日本	1,865	3,129	1,784	574	7,353	—	7,353
北米	2,521	4,454	—	4	6,980	—	6,980
中南米	155	736	—	—	891	—	891
欧州	1,203	1,816	—	375	3,395	—	3,395
アジア	1,216	2,123	21	50	3,411	—	3,411
顧客との契約から 生じる収益	6,962	12,259	1,805	1,005	22,033	—	22,033
外部顧客への売上高	6,962	12,259	1,805	1,005	22,033	—	22,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	64	0	106	175	△175	—
計	6,967	12,324	1,805	1,111	22,209	△175	22,033
セグメント利益	2,373	6,309	83	131	8,898	△1,432	7,465

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。
2. セグメント利益の調整額△1,432百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,434百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	177百万円	202百万円